

2020年12月8日
商工中金

広島県中小企業団体中央会と連携し、農薬を使わない川根柚子の 高付加価値化に取り組む川根柚子協同組合様を金融面からサポート

商工中金は、各地域の地方公共団体や関係機関等と連携しながら、「地域経済の活性化」や「地域雇用の創造」に貢献する中小企業等を積極的にサポートしています。

商工中金（広島支店）は、川根柚子協同組合様（本社：広島県安芸高田市、代表者：熊高昌三様）に対し、川根柚子の仕入れや新商品開発に必要な資金 1,200 万円を融資しました。本件は、商工中金と広島県中小企業団体中央会が連携し、組合及び組合員の事業を円滑に支援するための「中央会推薦貸付制度」を活用しています。

同組合は、広島県安芸高田市川根地区の柚子生産農家約 60 名によって構成され、柚子の生産から加工品の製造販売を手掛けています。他の国産柚子に比べ苦みが少なく、香りが強い農薬不使用の地元産「川根柚子」を原料に特徴のある加工商品を開発・販売し、過疎化が進む中山間地域の雇用創出に貢献しています。

今回、同組合は、商品力向上と販路拡充を図るため、生の柚子果実の販売と未利用果皮を使った新商品を開発することを計画しました。生産数量に限られる無農薬の生果実をインターネットで販売するとともに従来廃棄していた果皮を使った「柚子果皮ペースト」を商品化することで、川根柚子の知名度を高め、地元産農作物の高付加価値化による収益向上を見込んでいます。

商工中金は、広島県中小企業団体中央会と連携し、現場訪問やヒアリングを通じた事業性評価を実施。同組合の取組みが、地域資源のブランド価値向上や農産物廃棄ロスの低減、農業者の収益確保につながるものと考え、商品仕入れや新商品の製造販売に必要な資金を融資しました。

商工中金は、公的金融機関で唯一のフルバンキング機能を有する機関として、地方公共団体や地域金融機関等と連携しながら、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【川根柚子協同組合様の概要】

所在地	広島県安芸高田市高宮町 川根 2253-4
代表者	熊高 昌三様
出資金	106 万円
組合員数	58 名（2020 年 6 月現在）
設立	2012 年 2 月
業種	事業協同組合

